

10月12日(月曜日)「賢者でなく幼子に」

【新改訳 2017】

ルカ 10.21-24

「……『天地の主であられる父よ。あなたをほめたたえます。これらのことを、賢い者や知恵のある者には隠して、幼子たちに現わしてくださいました。そうです、父よ。これがみこころに
かなったことでした。』」(21節)

これは、主イエスの祈りのことばの1つですが、とても大切なことが明らかにされています。それは、神と神の国の福音を、この地の賢い人や知恵ある人に対して示されるよりは、幼子たち(特に知恵があるわけではないが、へりくだっている者たち)に示されるということです。

この真理は、聖書の中で繰り返し強調されている重大なものです。「父よ。これがみこころにかなったことでした」とも言われています。

さらに、この箇所には、父なる神と主イエスが全き関係にあることも明らかにされています。そして、イエスをそのように信じる者は幸いであると言明されています。

聖歌 490 番「われはおさなご」が私たちの信仰の歌でありますように。

～祈り～

主よ。自分の賢さや知識を誇りたがる私をあわれんでください。あなたのお示しをいただける幼子であれますように。

【学びのために】

聖歌 490 番 1 節「われはおさなご、われ主にすがらん、ちいさくあれど、しんこういだきて、たえず主イエスの手によりすがらん、しずけきひるもかぜふくよるも」。1 コリント 1.26-31 も参照。